



Pickup
生化学分野

血糖値・HbA1c

血糖値とは、血液中のブドウ糖の量(濃度)を表します。
血液中のブドウ糖が赤血球の中のヘモグロビンとくっついて、糖化したものを糖化ヘモグロビンと言います。

HbA1cは、糖化ヘモグロビンが血液中にどのくらいの割合で存在しているかを「%」で示したもので、過去1~2か月前の血糖値を反映しています。

いずれも糖尿病の診断や重症度の評価に用いられる検査項目です。



基準範囲と糖尿病判定基準

【 基準範囲 】

- ①空腹時血糖値・・・70~109 mg/dL(※空腹時血糖値とは、10時間以上食事をとらないで測定した血糖値)
- ②HbA1c・・・4.6~5.9 %

【糖尿病判定基準】

- ①血糖値・・・糖尿病予備軍:110~125 mg/dL 、 糖尿病の可能性が疑われる:126 mg/dL ~
- ②HbA1c・・・糖尿病予備軍:6.0~6.4 %、 、 他の検査値も該当する場合、糖尿病の可能性:6.5 %~

Close-up 糖尿病

血糖値、HbA1cと糖尿病の関連について、詳しくお話しします。

糖尿病とは



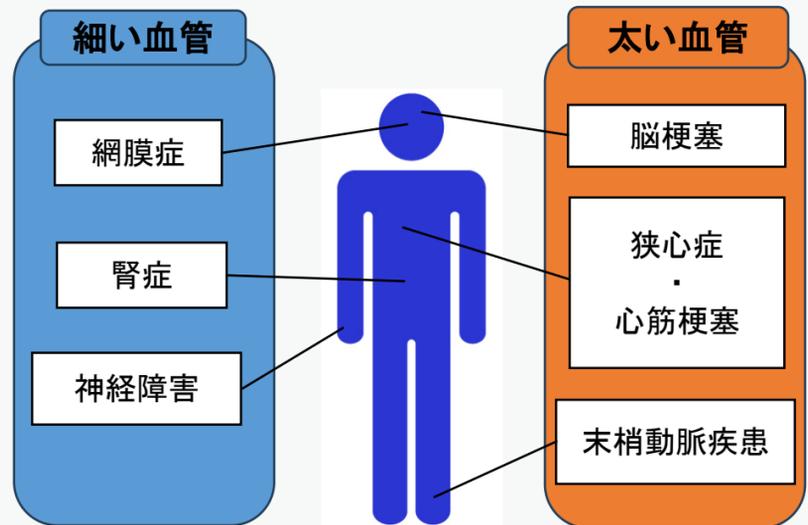
インスリンというホルモンの量が不足したり、働きが悪くなることで、高血糖状態が長く続く病気です。



インスリンは、膵臓から分泌される血糖値を下げる唯一のホルモンです。

高血糖の方は、一時的に本来の実力よりもインスリンが血糖を下げにくい体になっていることがあります。

糖尿病の合併症



長期間高血糖状態を放置していると、血管がもろくなり、それが原因で様々な合併症を発症します。

合併症は大きく2つに分類されます。

- ①細い血管が障害されるもの
- ②太い血管が障害されるもの

①は、神経の病気による手足の切断(年間3000人以上)、失明(糖尿病はその原因の第一位/年間3500人以上)、腎不全(糖尿病は透析導入原因の第一位/年間13000人以上)といった、糖尿病の三大合併症

②は、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞、末梢動脈疾患などです。

合併症を予防するためにも、自覚症状が現れる前から血糖・HbA1cで管理することが大切です。

糖尿病の現状



血糖が高いと言われたことがある方は、糖尿病の可能性が高いので、早急に検査を受け、合併症を起こさないよう適切な治療を受けることが必要です。

現在日本では、40歳以上の3人に1人が糖尿病の危険があるとされています。しかしその半数近くが検査を受けていない為、全く治療がされていない状態にあります。

Key Point

糖尿病では、喉が渇くようになったり、尿量が多くなったりといった自覚症状が出ることで知られていますが、全ての方に現れるわけではありません。

糖尿病の初期段階は、自覚症状がほとんど出ず、出てきたころにはかなり糖尿病が進行している事が多いです。このように、気付かないうちに糖尿病は進行しています。その為、年1回は必ず健診を受ける様にしましょう。

生活習慣を変えることが、糖尿病治療の第一歩です。食事療法や運動療法は、大切な治療の一環です。病気になる前から健康を考える一次予防を意識していきましょう。

健康とは

WHO(世界保健機関)憲章によると、

「身体的にも精神的にも社会的にも完全に良好な状態をいい、単に病気がないとか病弱でないということではない」

と定義されています。

<お問い合わせ先>

検査に関するお問い合わせ、ご要望は下記連絡先にご連絡ください。

〒471-0821 愛知県豊田市平和町1-62

TEL:0565-25-3165(代)

FAX:0565-25-3166(代)

バックナンバーについて

過去のらぼニュースは下記からご覧いただけます

会社ホームページ <https://www.goodld.com>

